富浦協働つうしん

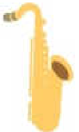
平成２７年７月９日発行　　発行:富浦地域づくり協議会「さざなみ」

第57号

TEL 0470-33-3412　FAX 0470-33-4788

〒299-2403 南房総市富浦町原岡88番地2(とみうら元気倶楽部内)

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～



夏の恒例！サマーコンサート♪
～コミュニティカフェ『びわ茶房』～

日時:7月22日(水)　午後2時～　無料
場所:とみうら元気倶楽部　交流ホール

元気倶楽部での演奏会は２回目。昭和歌謡を中心に全１０曲♪アニメや時代劇のメドレー、昨年のアンケートでリクエストがあった曲も。元気倶楽部にまた新しい風が吹くことでしょう。演奏は約１時間♪じっくり聴くもよし、一緒に唄うもよし、コーヒー片手もよし！お楽しみください。

昨夏の様子

南房総マリンウィンドアンサンブル

メッセージ:前回、とても気持ちよく演奏できたので、今回も楽しみにしています。団員一同

カフェは通常開設しています(13:30～15:30)
皆さんお誘いあわせの上、お越しください。

中野太鼓21と協演～びわっこガーデン～
スイカ割り大会もあるよ！

7月26日(日)富浦幼稚園園庭にて、参加費無料

スイカ割り大会

対象:小学校低学年以下の子ども
とその保護者
募集人数:親子で50名(申込み順)
時間:午前11時～12時

中野太鼓21との協演
(太鼓のたたき方も習います)
時間:午前10時～11時

申込み先:とみうら元気倶楽部　0470－33－3411

水辺の生き物とのふれあい
6～9月
プールで水遊び
7～8月

※7月19日は、富浦地区祭礼のためお休みです

ホームページを開設しました。活動や季節イベントなど、詳細は公式ホームページをご覧ください。

http://www.awa.or.jp/home/pipa/

『一度は観てほしい！！！』
第27回　南房総人形劇フェスティバル

その力強い言葉は、フェスティバル主管・ＮＰＯ法人富浦エコミューゼ研究会の酒井和夫さん。「文楽はなかなか観られないものだから、ぜひ足を運んでほしい!!」

◇本公演◇　当日券：800円　前売券：600円

8/2(日) 午後１：30～2：00　おむすびころりん
【ころころ】
午後 2：00~2：15　七面大天女　他
【富浦ｴｺﾐｭｰｾﾞ研究会】
午後 2：15~2：45　ﾍﾝｾﾞﾙとｸﾞﾚｰﾃﾙ
【あわの実】
8/3(月) 午後 2：00~3：00　島ひきおに　他
【ﾎｹｷｮ影絵芝居】
8/4(火) 午後 2：00~3：00　あかずきんちゃん
【劇団“貝の火”】
8/5(水) 午後 2：00~3：00　だんまりくらべ
【ｵﾌｨｽやまいも】
8/6(木) 午後 2：00~3：00　てぶくろを買いに
【劇団“貝の火”】
8/8(土) 午後 2：00~3：00　さるｶﾆ合戦
【劇団“貝の火”】

◇文楽◇　当日券：1800円　前売券：1500円

8/11(火)　昼の部 14：00~　夜の部 19：00~
『伊達娘　恋緋鹿子　火の見櫓の段』
『増補大江山　戻り橋の段』
『ふれあい文楽教室』

公演場所：とみうら元気倶楽部
前売予約：０４７０－３３－３４１１

無料巡回公演さんびきのこぶた他【劇団貝の火】

7/25(土) 午前10:00~11:00　千倉保健ｾﾝﾀｰ
7/25(土) 午後　1:30~ 2:30　和田ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ
7/26(日) 午前10:00~11:00　三芳農村改善ｾﾝﾀｰ
7/26(日) 午後　1:30~ 2:30　白浜公民館

“文楽”とは、日本が世界に誇る伝統芸能の一つで、人形浄瑠璃とも言われます。一体の人形を三人がかりで動かす『三人遣い』は堂々と観客の前に登場します。そして、物語を語る『太夫』、情景を音で表現する『三味線』、この『三業』が一体となった総合芸術です。【ユネスコ無形文化遺産】に登録されています

とれたて新鮮、富浦小のびわ どこにも負けないおいしさ!! ～富浦の誇りを胸に～

6月2日（火）午後、富浦小学校6年児童33名が道の駅枇杷倶楽部とお百姓市場の店先で枇杷の販売をしました。品種は、房光と大房。「南房総学」の一貫で「南無谷びわ研究会」の協力を得て、生産から販売までを手掛けました。大小パックと袋詰めで販売数126。収益は学校図書の「びわ文庫」に充てられます。

手作りののぼりでお出迎え

手作りパンフレット

小栗ティナさん
若王子咲月さん

袋かけが大変だった。呼び込みが難しかったけど、買ってくれるお客さんがいてうれしい。今日はとてもよい体験ができた。達成感がある◎

南房総学とは‥「南房総市への誇りと強い思い」を育てるため、地域を学ぶ学習として展開しています。地域の自然や産業、伝統文化を学び、体験する中で「故郷への思い」をもつ子どもの育成を進めることとしています。

さて、びわの実を収穫するときに出た傷びわは、5年生が加工品を作って6年生におもてなしをします。今年は、びわゼリーにびわジャムをトッピングしたデザートでした。

「来年はもっとおいしいびわを作ってね」と、そこでバトンタッチされます。

ぞくぞく、寄せられてます！『うちのひまわり咲きました』

5月13日に「びわ茶房」でお配りしたヒマワリの苗が富浦の町に次々と花開いています。日ごろから、元気倶楽部を利用している方、たまたまその日に来館していた方、この「協働つうしん」を見てきたという方、様々な形で手から手へ渡ったヒマワリの苗は、笑顔となって心と心を繋いでくれたようです。

富浦にとどまらず、近隣の市町にも届いています。

「咲いたよ！」と声をかけてくださった方、写真を撮って『コミカフェ』の日に見せに来てくださった方などなど、皆さんありがとうございます。今度は、ぜひカフェにお立ち寄りください。『びわ茶房』一同、心よりお待ちしております。

総勢40名『さざなみウォーク』初夏の里山、歩いてきました。

6月6日（土）、薄曇りではありましたが４０名の参加者は意気揚々と元気倶楽部を出発しました。歩いて３０分ほどで深名地区にある縄文時代の『瀬畠遺跡』に到着。土器、黒曜石の矢じり、石棒、住居跡が発掘調査で分かったことなど説明を聞きました。

富浦にはたくさんの民話があり、この里山コースでは村境の岩崎地蔵にまつわる話、宮本城址などいろいろな時代の話がありました。

ホルトの木

案内役の酒井和夫さんは、説明の合間に鳥が鳴くと、その鳥の名前をその場で教えくださり、「目だけじゃなくて、五感で楽しんでくださいね～」と付け加えました。

岩崎地蔵

折り返し地点の「道の駅おおつの里」では、花を見たり、直売所を覗いたり、ソフトクリームを食べたり、それぞれの時間を過ごしました。枇杷狩りの時期で、普段より交通量がありましたが、事故なく初夏のウォーキングを楽しみました。

里山歩きを満喫

おおつの里でパチリ！

参加者の声

亀さんクラブのＮさん、他９名

房日新聞を見て、初めて参加しました。グループで毎月一回ウォーキングを楽しんでいます。今回で１０７回目です。半日のコースで、お昼解散、気軽に参加できていいと思います。コース途中でその土地にまつわる民話や歴史を知ることができてよかったです。また参加したいと思います。

『さざなみウォーク』
次回は南無谷海岸コース
10月18日(日)の予定です